

地域の農地を継承する法人経営の取組 ～（有）ユニオンシステム（水上 孝志 氏）～

経営体の概要

個人		法人	個人		法人
事業実施前：昭和55年		平成18年設立時	事業実施前：令和元年		令和元年
基幹作物：水稻		水稻、小麦、大豆	基幹作物：小麦、大豆 たまねぎ		水稻、小麦、大豆 てんさい、たまねぎ
経営面積：7.0ha		24.0ha	経営面積：22.0ha		95.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

水稻を中心とした経営を行っているが、平成11年までに整備された幹線排水路や関連事業によって湛水被害が解消され、農業機械の近代化、省力化が図られる一方、離農者増加、農地分散、共同作業の出役減少など地域の課題を克服し地域農業を持続するために平成18年に離農後の農地を継承する農業法人を設立。個人経営と法人経営が共存する「二階建て方式」の経営体を確立している。

営農改善のポイント

①規模拡大・土地利用調整

個人経営として経営規模拡大を図るとともに、平成18年には農業法人を設立し、個人として独立しながら、法人も共存する「二階建て方式」の経営を行っている。現在、法人は95.0haまで拡大するとともに、麦・大豆約60haの作業受託を行うなど、地域を代表する経営体となっている。



たまねぎの作付（転作作物）

②作物の変化

大区画化や暗渠排水（地下水水位制御システム対応）の整備により、近年は無代かきや乾田直播を導入し、転作作物との田畑輪換、長期輪作体系を確立。転作作物は、小麦、大豆、たまねぎに加え、令和元年からてんさい（直播）を導入している。



ほ場の均平作業（GPSが1ヶ所付）

③機械・設備の整備

農業法人設立以降、スマート農業を進め、GPSガイダンスや自動操舵付の農業機械を利用するとともに、平成29年からはドローンによる防除など、ICT技術を活用して農作業の省力化による低コスト化を実現。また、GPSレベラーによるほ場の均平化、暗渠管掃除用ドレンクリーナーにより排水性を改善している。

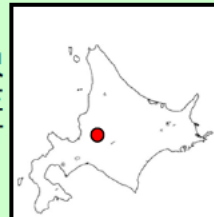


ドローンによる防除

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：北海道石狩郡新篠津村、岩見沢市（旧栗沢町、旧北村含む）、美唄市、赤平市、三笠市、砂川市、空知郡南幌町、同郡奈井江町
 受益面積：27,027ha
 事業期間：昭和54年度～平成23年度（空知中央地区）
 平成10年度～平成25年度（空知中央用水地区）
 事業目的：用水改良、排水改良、畑地かんがい
 主要工事：頭首工2箇所、揚水機5箇所、用水路233.5km、排水路63.3km、調整池1箇所

位置図（北海道）



空知中央地区
空知中央用水地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部
 農業振興課 調整係
 電話：011-709-2311
 （内線5684）

（令和元年度調査時点）